

国際交流員ダニエルの

KANGA KOURYUU

カンガ交流



世界のクリスマスの伝説

クリスマスは、多くの人々がお祝いするイベントで長い歴史を持ち、国によってさまざまな伝説や伝統があります。私は子どものころ、良い子にしていたらサンタさんから素敵なプレゼントをもらえて、良い子にしていなかったら石炭の塊をもらうということ信じていました。今回は私が特におもしろいと思った2つの伝説を紹介します。

良い子には聖ニコラスが来る。

悪い子にはクランプスが来る。

中部ヨーロッパでは、12月5日に聖ニコラスが良い子にプレゼントを配るといわれ、同じ日にクランプスが現れるといわれています。クランプスは主にオーストリアやハンガリー、ドイツ南東部などの国に伝わる伝説の怪物です。

クランプスは全身黒い毛で覆われていて、ヤギと悪魔が合体したような姿をしています。手には鐘や鎖、束ねたカバノキの枝を持ち、大きなカゴを背負っています。

クランプスの伝説では、悪い子が石炭をもらうことよりもっと恐ろしいことがあります。それは12月5日の夜になるとクランプスが鐘や鎖を振り回しながら街にやってきて、家々を巡り悪い子や大人を枝で叩いて良い人になるように諭します。特に悪い子は背負ったカゴに入れて、地獄に連れ去ることもあるそうです。

オーストリアやドイツ南東部ではクランプスの伝説をよりモダンにしたクランプスラウフという行事があり、お酒を飲んだ男たちがクランプスに仮装して通りを行列で歩き、見物客を良い人にするため杖で軽くたたきます。



▲悪い子連れ去るクランプス (1900年代のクリスマスカード)

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"Chrissie"

読み方 「クリッシィ」

意味 「クリスマス」

この単語は「Christmas」を短くして「-ie」を最後に付けて作ります。オージーは何でも縮めたがるので、このようなスラングをよく使います。「My perfect Aussie Chrissie is having a Barbie and drinking a Coldie with my family and friends」
皆さん分かりましたか。「私の理想とするオージーのクリスマスはバーベキューディナーと冷たいお酒を楽しみながら、友達や家族と一緒に過ごすことです」という意味です。

いたずら好きのユール・ラッズ

アイスランドの伝説では、クリスマスまでの13日間にユール・ラッズが每晚1匹ずつ、山から街に下りてきます。ユール・ラッズは妖精の一種で、街に来ると、窓枠に置かれた靴の中に、良い子にはプレゼントを、悪い子には腐ったイモを入れます。また、ユール・ラッズたちはいたずらが大好きで、13匹がそれぞれ違ういたずらをします。例えば「ビューグナクライキル」は家に忍び込んでソーセージを盗みます。「フルザスケリル」は開いたドアをピシャリと閉めて大きな音を立て、人に迷惑をかけて満足します。「スヴォルスレイキル」は汚れたスプーンをなめて喜びます。

クリスマス当日には、ユール・ラッズたちの母親「グリーラ」がやってきて、悪い子どもを大きな鍋に生きたまま放り込みます。恐ろしいですね。

それぞれの国の伝説はおもしろいですね。皆さんはどこの国でクリスマスを過ごしてみたいですか。



▲スプーンを舐めるスヴォルスレイキル